



## 嶺南教育実践フォーラムへの道 part 1

今年度も2月に嶺南教育実践フォーラムが行われます。昨年度は、嶺南の先生方を中心に県外からものべ500名以上の参加をいただき、様々なご実践から語り合いを通して多くの学びを得ることができました。

昨年度寄せていただいた感想をもとに、「嶺南の先生方のさらなる学びにつながる場にしたい」「現場のニーズに合ったものにしたい」「つながって学び合える場にしたい」との思いから、今年度のフォーラムをどのようなものにするかを事務所員みんなで探究しています。

### <昨年度の参加者の声から>



様々なセッションがあって勉強になる。身近な実践が交流できる場もあるといいなあ。

時間が短いのはありがたい。でも、交流が十分にできると、もっと学びが深まるかも…。

参加者が少ないのがもったいない！いろいろな世代が参加できるとよいのに…。

### <事務所員の話合いから>

素晴らしい実践を知ることができる機会は大切にしたい。

でも、働き方改革の中で、準備をお願いするのは心苦しい…。

日々頑張っておられる先生方の実践を知る機会を増やしたい。

話題提供という形で準備なく実践を話していただくのは？

参加者・発表者のニーズに合わせていろいろなセッションの持ち方があってよいのでは？

手軽に参加できる形は継続していきたいね。

「もっと話したかった」という声はうれしいなあ。「対話を通しての省察」はこれからの教師の学びの在り方につながるし。

でも、話したい人ばかりじゃないのかも。話さなければいけないことが参加へのハードルを上げている？

個別最適に参加の形も選択できるようにするのはどうだろう？

そもそもフォーラム自体を知らない人が多いのでは？

参加してもらえないと、良さも伝わらないよね。

これからは担う若い先生方にもぜひ参加してもらって、つながりを作ってもらいたい。

意義も含めて、もっと広報する必要がある。それに、参加しやすい形も考えていかないと…。

嶺南の先生方の「主体的で個別最適な学び」につながるフォーラムにしたい！



【R5開催テーマ】

つながりながら、拓く。

【特別講演】

「学び合う学び」を子どもたちに

東海国語教育を学ぶ会 顧問 石井 順治 先生



探究はまだまだ続きます。次回はpart2で…。

《問い合わせ》  
研修課 0770-56-1302